

労災事故はさらに増加しています。

☆死傷災害は89名(22.8%)増加し479名となっています。



用語の説明は支部
ホームページ参照!

神奈川県労働局の集計によると、令和3年6月末(1月1日から6月30日)における県内の陸運業の労働災害発生は令和2年同期と比較し次のとおりとなっています。

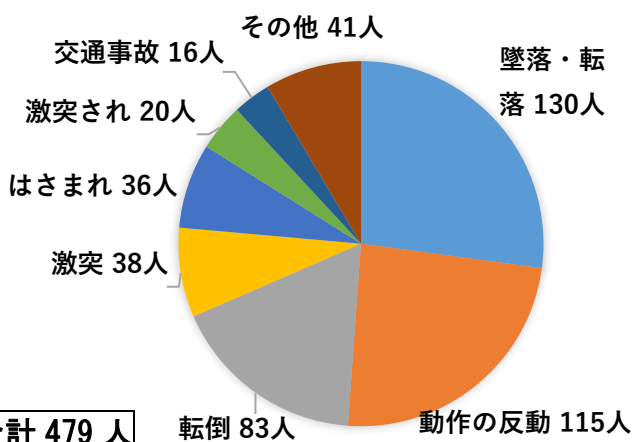
- ◇ 死傷災害は 道路貨物運送業では39名(+13.2%)増加しており、陸上貨物取扱業では50名(+53.2%)増加と両業種で増加しています。
- ◇ 死亡災害は 現在のところ発生していません。

死傷災害とは、死亡災害と4日以上休業災害を合計したものです。

1. 概況 (神奈川県内) 陸上貨物運送事業全体 (道路貨物運送業+陸上貨物取扱業)・・・(事故の型ワースト6+交通事故)

事故の型	墜落・転落	動作の反動 (腰痛等)	転倒	激突	はさまれ・ 巻き込まれ	激突され	交通事故	その他	合計
発生件数	130	115	83	38	36	20	16	41	479
対前年増減	+45	+38	-7	+7	+2	+3	-7	+8	+89
同上増減率	+52.9%	+49.4%	-7.8%	+22.6%	+5.9%	+17.6%	-30.4%	+24.2%	+22.8%

陸上貨物運送業全体



陸上貨物運送業全体の発生状況

◎ 死亡災害
発生していません。

◎ 死傷災害

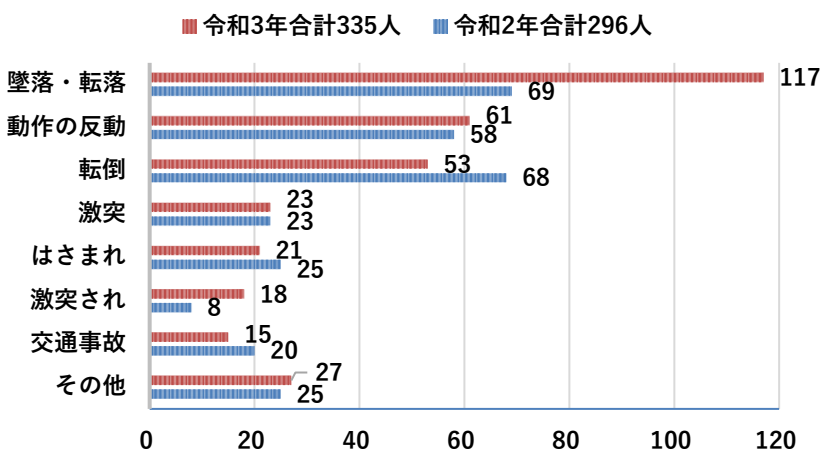
- ① 墜落・転落災害が52.9%増加し130名となった。特に道路貨物運送業で69.6%の大幅増加となっている。
- ② 腰痛等の動作の反動が49.4%増加し115名となった。特に陸上貨物取扱業で184.2%の大幅増加となっている。
- ③ 転倒災害は7.8%減少し83名となった。ただ、陸上貨物取扱業で36.4%の増加となっている。

基本操作・
行動の励行を!

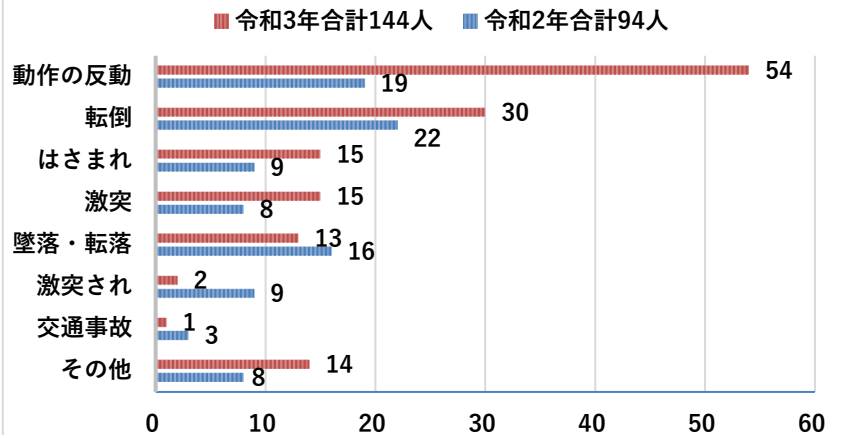
◎ 労災事故が過去最多状態の危機的状況が続いていることを労使で共有し、荷役作業を中心にあらゆる対策を講じて労災事故を撲滅しましょう

2. 各業種の概要

道路貨物運送業



陸上貨物取扱業 (貨物利用運送事業等)



- ☆1 昨年同期に比べ+13.2%(+39名)増加して335名となっている。
- ☆2 墜落・転落が69.6%(+48名)と大幅に増加している。
- ☆3 転倒災害が-22.1%(-15名)減少している。

- ※1 昨年同期に比べ+53.2%(+50名)増加して144名となった。
- ※2 腰痛等の動作の反動が+184.2%(+35名)と激増している。
- ※3 転倒災害が+36.4%(+8名)増加している。

3. 死亡災害発生概要 (陸上貨物運送事業関係)

陸災防神奈川県支部収集

番号	発生地	年月日 曜日 時刻	事業の種別 労働者数 職種	起因物 事故の型	発生概要
----	-----	-----------------	---------------------	-------------	------

令和3年6月末まで死亡災害は発生していません。このまま死亡災害ゼロを継続しましょう。